

<暮らしの夢から“かたのサイズ”をめざす像までの流れ>

暮らしの夢

3. 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし

私の学校は、たくさんの緑に囲まれている。グラウンドが芝生なので、転んでも痛くない。ときどき、森にでかけて木を植えたり、工作をしたりする。学校の畑で野菜もつくっている。このような授業は、地域の人が先生になって、いろいろ教えてくれる。

いろいろな国の人も教室に来て、生まれた国の話をしてくれる。私たちも英語で交際を紹介できるように勉強している。

学校の給食はとてもおいしい。地域の農家の人がつくった食材が出る日は、お楽しみの日で、地域の人も招待して、みんなでつくって食べる。いろいろなことを勉強しなければならないけど、活動もあるので、学校に行くのは楽しい。

(小学生)

私は、体育が苦手なので学校のクラブにはいっていない。でも近くの体育館で、時々無料開放があり、いろいろなスポーツが楽しめる。エアロビックやダンス、ヨガもある。

宿題をしてもよい場所があり、友達と一緒にそこで宿題やおしゃべりをしてから家に帰ることもある。

(中学生)

勤務地への交通の利便性もよく、緑豊かな環境があり、保育所や学童保育も充実しているので、ずっと共働きをしながら子育てをしてきた。

小学校では、しっかり基礎学力をおさえてもらい、さまざまな体験もさせてもらっている。6年生になった今でも見るもの、聞くものすべてに興味があり、「どうして?」と質問攻めにあう。

先日、大学が小学生向けに実施している出張ゼミに参加させてもらった。とても面白かったらしく、それ以来せつせつと課題に取り組み、レポートを提出しているようだ。

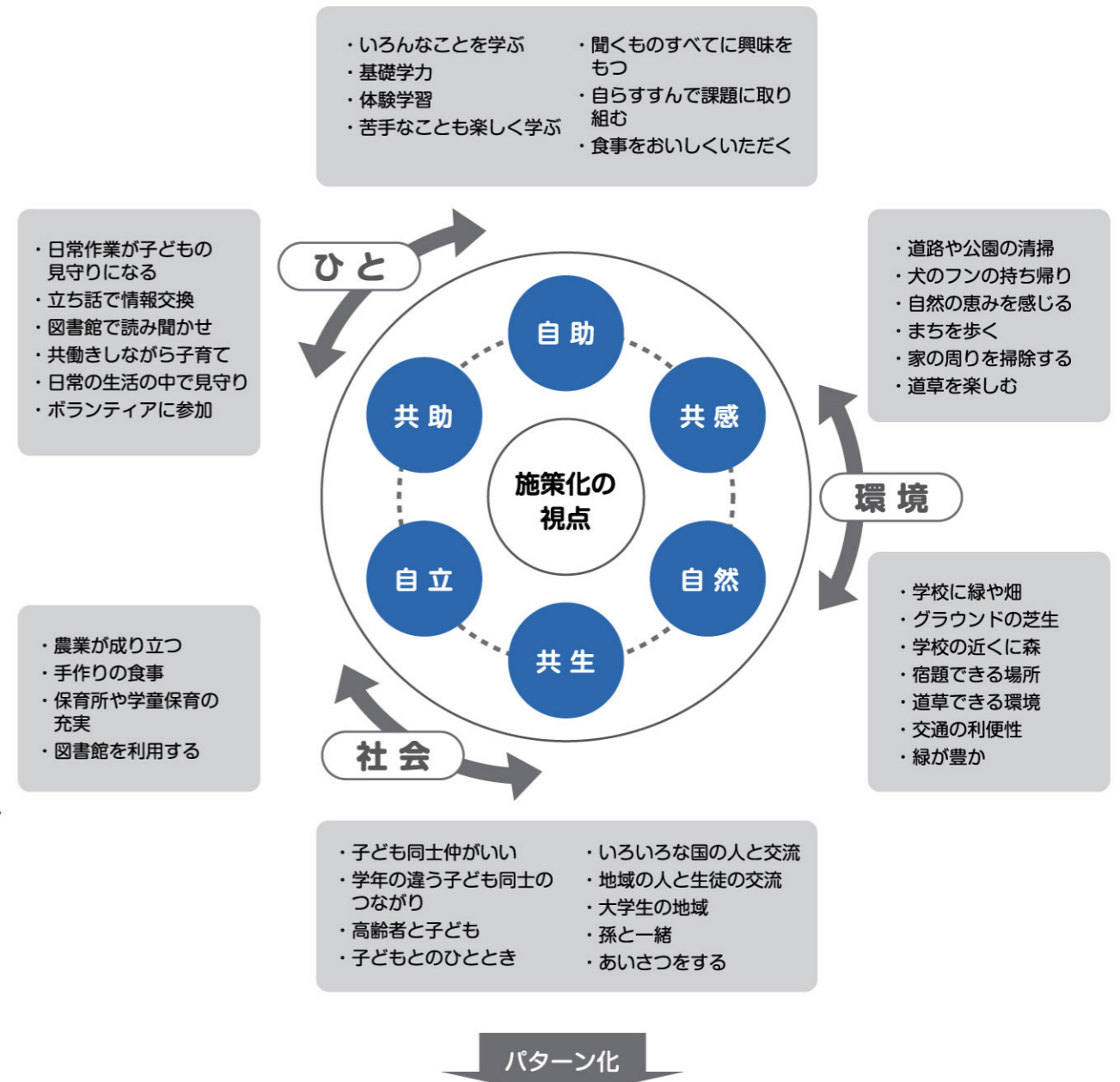
(子育て中の方)

地域の子どもが登校する時間は、外にでて清掃をする。孫が小学生になってから、ずっとこの習慣を続けている。子どもたちとあいさつを交わし、ご近所さんと立ち話で情報交換するのがすっかり日課になった。

お昼過ぎには図書館に行って本を読む。これも孫が小さい頃に一緒に出かけていったことがきっかけだ。今は図書館にやってくる子どもたちに読み聞かせをするボランティアにも参加している。

最近、ここで大学生が教えてくれる英語講座ができた。子どもだけでなく、高齢者もいて、英語で自分の得意なことを紹介しあうコーナーがとても面白い。

(60歳代女性)



No.	“かたのサイズ”をめざす像
3	スポーツを通して、仲間意識を育み感動を分かち合っている
9	五感を大切にして、情緒豊かな時間を味わっている
18	子どもたちの未来に明るい希望がある
20	子どもたちが、しっかりと基礎学力を身につけている
21	様々な人の経験や技が、子どもたちの興味、関心を引き起こしている
22	活動や資格取得など目的に合わせて多様な学びの場がある
23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている
24	まちなかに元気な子どもたちの笑顔があふれている
25	自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる
63	いろんなところで気軽に立ち話や道草が楽しめる